

4－（１）体育指導法講習会

担当 平田 徳保

1 はじめに

県中学校体育研究会では、体育指導者の資質向上を図るために、毎年体育実技講習会を開催してきた。実施後の反省の中で、優秀な指導者の指導される場面を見学して学ぶ講習会を開催してみてもどうかという案が浮かび、本年度初めて指導法講習会という形で研修を実施することになった。

2 講習会の概要

- (1) 期 日 平成29年7月26日（木）
- (2) 会 場 有明体育館（天草市）
- (3) 講 師 濱口 康之 氏 （一般社団法人 FCK MARRY GOLD スポーツクラブ）
- (4) 内 容 サッカー（球技：ゴール型）

- テーマ ①サッカーの初心者にとどの様な指導をすべきか
- ②男女共修の中で行われるサッカーの授業について
- ③学指導要領を具現化するためには

○有明中学校の1学級を対象に、講師が指導する場面を参加者が見て指導技術を学ぶ形式で研修会を実施した。

3 受講者の感想

○場作りが大変参考になった。日頃、様々な年代を対象として指導されているノウハウが詰まっております、今後の教育活動に活かそうである。

○簡潔にまとめられた説明が参考になった。生徒の説明が長くなる傾向があり、活動量の確保のためには、伝えることをまとめておくことと伝えるタイミングや順序も大切だと感じた。

○男女共修の授業を行う際は男女の体力や習熟度を考慮しながら、場の工夫やルールの工夫をすることで共に、学習ができることを感じた。

○サッカーを専門として学んでいる人にとっては少し物足りなさそうである。

○授業の導入、苦手な生徒や初心者への手立てとして活用できそうである。

○年齢を重ねるごとに体力の衰えを感じ、若いときのように体を動かすとけがをやる心配があり、実技講習会には抵抗を感じていた。今回の様な形であれば、安心して参加でき、指導力の向上も期待でき大変ありがたかった。

1 おわりに

講師の濱口氏は園児から中学生まで幅広くサッカーを指導されており、指導されているチームを毎年九州大会へ導かれている。サッカー指導のプロの指導手腕を学ぶことで、教育活動にも活かさないかと考え、講師として依頼した。受講者からの感想でも好意的な意見が多く、今回の指導法講習会という形でもよいと思った。課題としては、講師の選出と講習会の内容である。受講者の教育的課題に答えることができるように、テーマの設定や講師との打ち合わせが大切であると思った。